

会議の名称	議員定数・報酬等検討 特別委員会 議員定数分科会	開催月日・令和6年10月21日 開会時間・午前・午後10時00分 閉会時間・午前・午後10時33分
出席者	安藤 誠 佐藤 健 栗津 明 原 一郎 野口 佳宏 豊島 保夫	
欠席者		
オブザーバー		
傍聴者		
説明のために 出席した者	藤井議会事務局長、浅井議会総務課長、堀議会総務課長補佐、 森議会総務課主任	
協議事項	・議員定数について	

【開会＝午前 10 時 00 分】

豊島座長

それでは定数分科会を開会いたします。本日は前回の分科会で宿題となっております、今後の全体的なスケジュールについてと、定数の削減と現状維持、増員に対して、実際に取り組みられた議会の現状を、一度調査する機会を設けてはということをご協議いただきたいと思います。過去に、当時の議会改革特別委員会の原委員長におまとめいただいたときでも、相当な資料作成と調査をして、ご提示もしていただきましたが、今度はそういうことだけでなく視察を通して勉強したらということをご協議してはということです。

1 点目からですが今後のスケジュールについて。これは前回もお話が出ておりましたが、どのように進めていくかというので、この間ご検討いただいた方。

佐藤委員

違う内容で恐縮なんですけど、安藤委員は欠席のご連絡とかあったんでしょうか。

豊島座長

事務局からお聞きしとりながら報告が遅れました。お車の調子で遅れるということですので、連絡はいただいております。

粟津委員

スケジュールは最終的にいつまでに決定するということは、この分科会で決まっていますか。

豊島座長

分科会でも委員会でもそこまでは決まってないです。3 分科会が同一歩調でないといけませんから。

原委員

先にお話しました山口市と瑞浪市が直近で定数を変えています。議員に聞いてみたんですが、羽島市と同じように住民から要望が来たという話をいただきまして、状況が似てると思いました。

スケジュールなんですけど、県内の状況とか、全国の状況を示していただいているので、客観的な分析とともに、他市町の状況を聞きながら。時間に関しては特に長くすればいいこともないですし短くすればいいこともないですし、他の分科会と歩調を合わせて進めればいいと思います。

野口委員長

長いことやっても意味ないのかなと思ったりもするので、分科会の結論は今年度中にはいただきたいなど。確か

	<p>に足並みを揃えるの大事ですけど。</p> <p>あと、原委員がお話されましたけど、もし視察になっても県内で行けるところがあるのであれば、常任委員会の視察と違って身近に行けるので。</p> <p>議長としての発言になってしまうかもしれないんですけど、分科会の結論を以て、来年度に委員全員でやっていくという方向性がいいのかなという感じはしています。</p>
粟津委員	<p>スケジュールに関しては、議長の言う通りで大賛成です。定数は奇数のところもあるけども、常任委員会の人数がバラバラになってくるんやが、奇数にした場合は。例えば中津川市は定数 21 人だけど、常任委員会というのは三つで 7 人ずつかな。常任委員会はすべて同じ人数でないといけないのか、そこはどうなのかな。</p>
議会総務課長	<p>そこは人数が変わっても大丈夫です。</p>
佐藤委員	<p>まず調査研究の関係ですが、視察するほどなのか分からないのでそれは微妙に思っていますが、視察するのであれば早く視察をして、確認することが大事ではないかなと思います。</p> <p>今のお話では出てないんですが、アンケートをどうするかということは検討してもいいのかなと。</p> <p>あと全体的なスケジュール感は今年度中ということでもいいのかなと思います。</p>
豊島座長	<p>アンケートとパブリックコメントはこの分科会だけで実施するわけにはいかないの、それは一段落したあとに。例えば今年度に分科会であるところまで結論が出たら、今度全体の委員会として、つまり議会がアンケートを実施するしないですから。</p>
安藤委員	<p>大変遅れまして申し訳ありません。時期に関しては早いほうが今度の選挙に向けての体制がとれるのではないかと思います。</p> <p>先進地視察ということですが、各市町で条件が違ったりしますので、勉強することは大事ですけど、羽島市の状況とかいろいろ考えて、先進地の視察はどうかなという考えを持っています。</p>
豊島座長	<p>スケジュールは、分科会として年度内に一つの方向性の</p>

	<p>目途を立てることを目標に持ちたいと思いますが。</p> <p>(異議なし)</p>
豊島座長	<p>視察についてはいろいろな調査方法がありますが、生の声も聞くということも。当然、県内や橋を一つ渡るぐらいの近隣です。状況が違いますから同じ人口くらいでも面積が何倍も違うところもあれば、市の生い立ちが違うところもあろうかと思しますので、数字だけを見るよりも生の声を聞いて、定数に関する議論の実情を勉強することもやぶさかではないかなという意見と、必要かなというご意見がありました。これについて再度ご意見がありましたら。</p>
原委員	<p>定数削減が山口市と瑞浪市が直近であるということで、記憶が正しければいいですが高山市が定数維持だったと思うんですが、意見交換会を実施して、まとめたものがインターネットでしっかり公開されているので、参考になるのではと思っています。</p>
粟津委員	<p>全国も含めて、次回の勉強のテーマにしてはどうか。</p>
豊島座長	<p>もう少し絞らないと。大前提として県内及び近隣までが範囲で、調査研究は状況を直接聞くチャンスです。</p>
粟津委員	<p>資料を勉強するのではなく、直接視察するという事なら分かりました。</p>
豊島座長	<p>他にご意見ありますか。</p> <p>(意見なし)</p>
豊島座長	<p>それでは時期や日程等を調整していただきますが、事務局でどこかを選定していただいて。</p> <p>(「予算はあるの」と呼ぶものあり)</p>
議会総務課長	<p>公用車で行ける範囲で。</p>
豊島座長	<p>そこを事務局と協議しまして、事務局から案をいただくということで進めていきたいと思えます。</p> <p>年度内で方向性を決めるということと、視察で生の声を</p>

	<p>聴いたり、踏み込んだ資料等の確認など、調査をするということに進めたいと思います。</p>
議会総務課長	<p>アンケートはよかったですか。</p>
豊島座長	<p>委員会として実施するものですので、この分科会の単独では。</p>
議会総務課長	<p>まとめて実施するのはいいんですが、分科会の意向はどうですか。</p> <p>(「やる体で」と呼ぶものあり)</p>
粟津委員	<p>市民のアンケートが来ているから特別委員会が出来たんじゃないの。</p> <p>(「あれは要望」と呼ぶものあり)</p>
粟津委員	<p>市民にアンケートとってもそういう要望になると思う。その要望を踏まえて今議論をしているんだから、現状で市民アンケートを実施する必要はないと思う。我々で結論が出た後にやるならいいけども。</p>
豊島座長	<p>アンケートをとる場合、政務活動費や報酬も含めることになると思いますので、上げてあげないといけないではないかという市民が多いかも分からないですし。</p>
粟津委員	<p>最終的にアンケートをとるということなら賛成です。</p> <p>(「やるスタンスでいけばいい」と呼ぶものあり)</p>
豊島座長	<p>では、定数分科会としてはやる方向ということで委員会に報告を上げさせていただきます。次回までに事務局と視察先の調整を行います。</p>
野口委員長	<p>原委員が調査された瑞浪市とか、どういう取り組みをやっているのかとりまとめていただいて、それを次回委員に諮ってここにしようというやり方が。視察行くならそういう段取りの分科会を挟んだほうがいいかもしれない。</p>
議会総務課長	<p>市によっては定数だけを議論しているところと、合わせ</p>

	<p>て報酬とか政務活動費も議論しているところがあるので、できれば報酬とかを合わせて議論しているところで選ばれたらなと思います。事務局でも探しますけど、何か情報あったら早めに教えていただければありがたいです。</p>
佐藤委員	<p>県内は範囲が特定されているんですけど、近隣はどこを特定しているんでしょうか。</p>
豊島座長	<p>具体的な距離はありませんが、高山市と比べたら一宮市が近隣ですので、日帰りで事務局に負担をかけないところということです、抽象的ですが。</p>
議会総務課長	<p>先ほど合わせて議論しているところの話をしましたけど、距離が遠くなるなら分科会で別々に近いところに行くこともありますし。大体片道1時間程度かなと思います。</p>
豊島座長	<p>それでは次回の日程ですが、11月12日火曜日午前10時の招集でよろしくお願いします。本日の定数分科会は閉会いたします。</p> <p style="text-align: right;">【閉会＝午前10時33分】</p>